

第 8 7 回

2015 3 / 9 月 18:00 -19:00

モデレーター：菊池 章 (大阪大学大学院医学研究科 副研究科長)

トランスポーターを 標的とした創薬

未 来

大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター 1F
マルチメディアホール
19:10～ 情報交換会：1F ホワイエ



金井 好克

大阪大学大学院
医学系研究科生体システム薬理学 教授

トランスポーターは、その分子実体が明らかにされる以前より、利尿薬、抗うつ薬等の汎用される治療薬の標的として重要な位置を占めてきた。同時に、薬物動態の支配要因として、薬物の吸収・分布・代謝・排泄における膨大なデータが蓄積されている。近年、ポストゲノムの新技術の適用により、生体機能／病態との関連性の理解に大きな進展が見られ、新たな切り口からの創薬を導く素地が形成されつつある。講演では、がん細胞に高い特異性をもって発現亢進するアミノ酸トランスポーターを標的としたPETプローブと抗腫瘍薬の開発についての演者らの研究を紹介しつつ、トランスポーターの新たな創薬ターゲットとして意義について考えたい。

医 療

主催：大阪大学大学院医学系研究科

共催：未来医療交流会

後援：文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」
厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

セ ミ ナ ー